

1 学級規模校の魅力の認知向上に向けた情報発信業務  
 公募型プロポーザル選定委員会（第2回）  
 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年8月23日（金） 10時00分から11時20分まで
2	場 所	広島県庁本館 102 会議室
3	出席委員	広島県教育委員会事務局学びの变革推進部教育改革課長 広島県教育委員会事務局管理部総務課秘書広報室長 広島県総務局広報課長 広島県教育委員会事務局学びの变革推進部義務教育指導課長 広島県教育委員会事務局学びの变革推進部高校教育指導課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	教育委員会事務局学びの变革推進部教育改革課
6	開催方法	参集
7	議事内容	1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者として選定した。  2 審査結果 (1) 審査対象者 A社：東光印刷株式会社 B社：株式会社広島朝日広告社 (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり (3) 最優秀提案者 株式会社広島朝日広告社（B社）  3 各委員の主な評価・選定理由 (1) A社 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンセプトと構成がシンプルでわかりやすい点が評価できる。</li> <li>・ ランディングページのデザインや構成が見やすく、若い人にとって好印象を与えるデザインだと感じた。</li> <li>・ 学校毎に特色や訴求するターゲットが異なる中で、同一のコンセプトとしてしまうと、単一のイメージを与えかねないと感じた。</li> <li>・ ポスター掲示などの自由提案に関しては、他社と比べて、ターゲットへの訴求効果が高いと感じた。</li> </ul>

	<p>(2) B社</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業の方向性をよく理解しており、ポイントを押さえた業務遂行が期待できる。</li><li>・ 目標値の算出根拠が不明確であった。</li><li>・ 静止画と動画のそれぞれの特性を意識し、ターゲットをしっかりと分析している点が評価できる。</li><li>・ これまで学校と連携を行った実績もあり、提案の内容も現場の実態を良く把握されていると感じた。</li></ul>
--	---